# 近森オルソリハビリテーション病院　医療相談室

室長　川澤　あゆみ

## ○医療相談室体制について

近森オルソリハビリテーション病院は、3 階が一般・地域包括ケア病棟、4 階が回復期病棟の 2 病棟の体制をとっている。2022 年は 3 階にソーシャルワーカー（以下、SW）1 名、4 階に SW2 名を配置しスタートしたが、3 月末に 1 名が退職し各病棟 1 名体制となった。9 月の異動では両病棟の SW が他院へ異動し、他院から異動してきた SW2 名で各病棟 1 名体制を引継いだが、12 月に 1 名退職し、非常勤スタッフ 1 名を採用したことで常勤 1 名＋非常勤 1 名体制となった。

## ○業務について

医療相談室では例年同様に入院ケースを中心に業務を行った。2022 年の相談件数（延べ人数）は、入院関連 2923 件、外来関連・その他 412 件であった。相談対象は患者本人 1826 件、家族 930 件、関係機関 2226 件、その他 26 件で、対応方法としては面接 2142 件、電話 2720 件、訪問・その他 129 件であった。

感染対策により 2022 年も家族面会や関係機関の病棟への立入りは制限された。しかし、市中の感染状況に応じた感染予防策を講じながら、院内の病棟以外の場で患者や当院スタッフとケアマネージャーらが顔を合わせて情報交換ができるよう取り組んだ結果、2020 年 8 件・2021 年 3 件にとどまっていた退院前担当者会を 2022 年は 28 件開催できた（図 1）。

患者宅訪問は未だ再開できていないが、退院支援を行う中でケアマネージャーらから家屋訪問の要望が聞かれることもある。今後も感染対策が継続される中で、患者が安心して地域へ帰るために関係機関との連携方法を工夫しながら積極的に地域とつながっていきたい。

また、2022 年は相談室内の人員変動が多い一年であった。2023 年は、人員の変化に対応しながら適切なソーシャルワークが提供できるよう業務内容の見直しにも取り組んでいきたい。
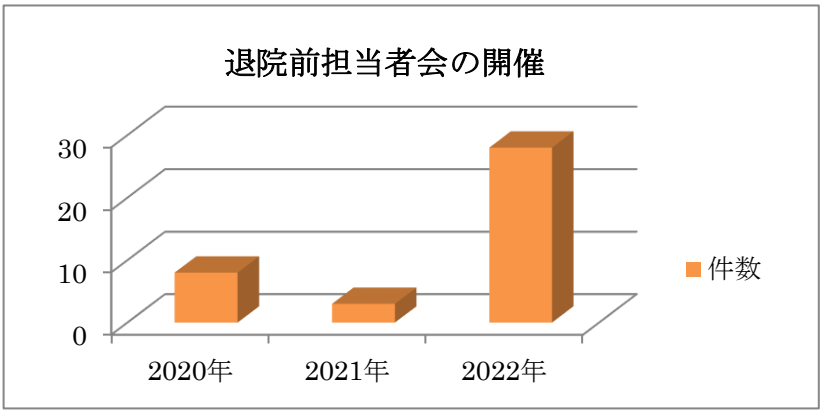
図 1